2021 年 11 月 5 日

各　位

会　社　名　株式会社ハピネット
代表者名　代表取締役社長　榎本　誠一
（コード番号　7552　東証第 1 部）
本件問合せ先　取締役執行役員経営企画室長
石丸　裕之
電話番号　03-3847-0410

映画『梅切らぬバカ』
2021 年 11 月 12 日（金）全国公開のお知らせ

株式会社ハピネット（本社：東京都台東区、代表取締役社長：榎本誠一）の子会社である株式会社ハピネットファントム・スタジオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小西啓介）の自社幹事作品である映画『梅切らぬバカ』が 11 月 12 日（金）より全国順次公開します。ぜひ映画館に足をお運びください。

あなたがいれくれて、母さんは幸せだよ

■作品紹介



都会の古民家で寄り添って暮らす母と息子。ささやかな毎日を送っていたが、息子が 50 回目の誕生日を迎えた時に母はふと気づく。「このまま共倒れになっちゃうのかね？」
母親と自閉症を抱える息子が、社会の中で生きていく様を温かく誠実に描く本作。包容力あふれる母を演じるのは、加賀まりこ。主演映画としては、『濡れた逢びき』（67）以来、54 年ぶりとなる。軽口を叩きながらも、小柄な身体で大きな息子の世話を甲斐甲斐しくする姿はとてもチャーミング。だからこそ、やがて訪れる“息子が 1 人で生きる未来”を案ずる横顔が、より一層切なく観る者の胸に迫る。息子役は『間宮兄弟』で日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞し、NHK 連続テレビ小説「おちょやん」など俳優としても活躍するお笑い芸人・塚地武雅（ドランクドラゴン）が真摯に演じる。
日本映画の若手映画作家を育ててきた「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」の長編映画として選出・製作された本作の、脚本・監督を務めたのは映画作家・和島香太郎。ドキュメンタリー映画にも関わり、障害者の住まいの問題に接してきた経験から着想を得て、綿密な取材を重ねて完成させた。地域コミュニティとの不和や偏見といった問題を取り入れながらも、固く結ばれた親子の絆と、人と人との触れ合いを描き、あたたかな感動をもたらす。

■ストーリー

■父親代わりの梅の木が運んでくれた“小さな奇跡”とは・・・？

山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木の枝は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまう。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが・・・。

■作品概要

加賀まりこ　　塚地武雅
渡辺いっけい　森口瑤子　斎藤汰鷹　／　林家正蔵　高島礼子

監督・脚本：和島香太郎

配給・宣伝：ハピネットファントム・スタジオ
文化庁委託事業「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト 2020」長編映画の実地研修完成作品
©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト　2021／日本／77 分／5.1ch／ビスタ／カラー

詳細情報につきましては、下記の公式 HP・SNS をご確認ください。
公式 HP　：https://happinet-phantom.com/umekiranubaka/
公式 Twitter　：@umekiranubaka

11 月 12 日（金）よりシネスイッチ銀座ほか全国公開！



